

**図書館の目標としているもの** (図書館事業計画より)

「利用しやすい図書館」「親しみやすい図書館」「心がゆたかになる図書館」を目標として、利用者ニーズに応えると共に迅速に資料提供ができる、また利用者が気軽に立ち寄れる図書館づくりを積極的に進めていく。

**背景・課題**

蔵書数 91,596 図書購入費 3,742 千円 一人当たりの資料費 227 円

※特徴として人口規模を考慮して比較しても規模、割合は低い、高齢者の利用が多く、あきる野市立図書館での広域貸出利用者が多くなっている。

課題点としては、

スペースの問題

現在、満杯の状況であり蔵書を増やすことができない、新旧入れ替えも閉架書庫スペースが不足しており進めにくい。図書購入費は10年近く同額の予算で推移、十分な額ではないが、制約が多い理由で入替が少なくバランスを保っている。雑誌類については近年、値上がりが進み苦しいが、こちらもスペースの問題で充実には至っていない。

利用者からの要望

- ・閉館する時間が早い(現在 17:00 閉館)、・夜間開館をして欲しい・Wi-Fi 環境が欲しいなどの声がある。

**図書館の充実・課題解消に向けての取組**

- ・図書館スペースは限られており蔵書数の増加は困難。視点を変え広域貸出の充実を図る
- ・図書館現場に寄せられるご意見は、予算、人的増加で対応できる可能性はあるものの、行革が求められる中、割り切った開館時間の変更などを模索してみる。(午前閉館日は夜間開館など)

「(こどもの)居場所づくり」の観点から、実現可能な取組

- ① 教育センター1階のエントラスを有効活用する。冬場の温度管理(空調)、若干暗い(照明)点があるが、小工事で図書館内より気軽にくつろぎやすい空間(ゲーム・イートイン茶話)を提供できる。



気軽にくつろげるスペース空間

導入検討のベビーケアルーム

## ② 学習室の確保

手狭ではあるが図書館館内に学習スペースを設ける



### 案1

南側窓近く若干書庫を整理し、対面型、パーテーション仕切りの机を設置し

6席程度確保

または窓際にカウンタータイプ設置



### 案2

北側窓書庫を撤去し窓沿いにカウンター席確保 6席確保  
+長テーブル配置(閲覧用)

高齢者の利用が多くうるさがられることを懸念、  
現場職員からは反対の意見が多い

- 今後を見据えた取り組みとして、• 図書館のDX化、電子図書館の導入は各自治体で導入が始まっている。GIGAスクールにより児童生徒に端末が配布されている。若年世代はタブレット、スマートフォンの使用にストレスはなく児童図書類の転換から始めてみてはどうかと考える。



蔵書量の整理により余裕スペースを作る。更なる「(こどもの)居場所づくり」にもつなげられるのでは